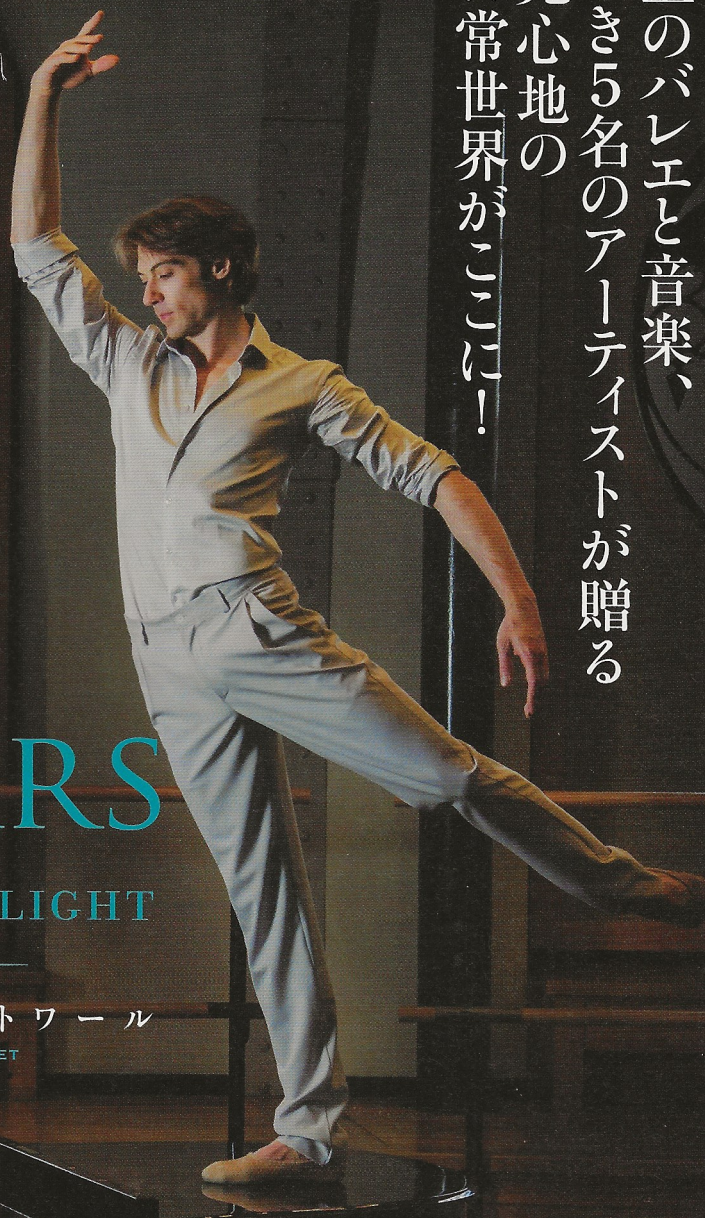
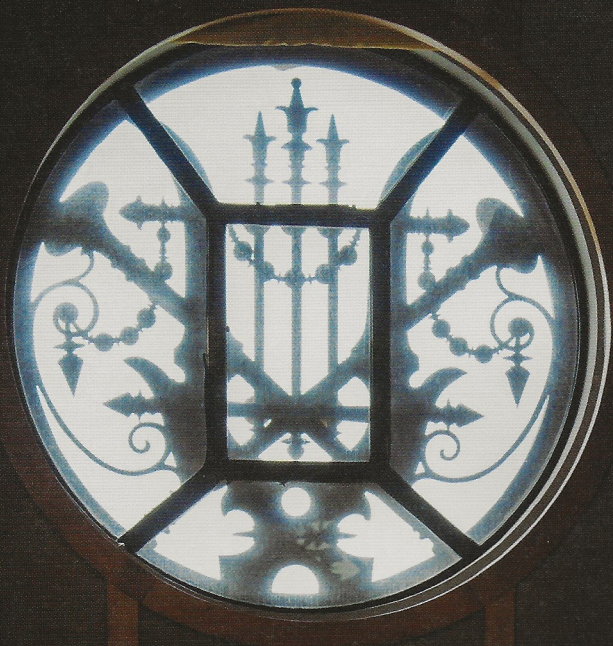


追加情報
決定!

極上のバレエと音楽、
美しき5名のアーティストが贈る
夢見心地の
非日常世界がここに!

©Masahiko Takeda



STARS in THE MOONLIGHT

月夜に煌めくエトワール

MUSIC & BALLET
CONCERT



パリ・オペラ座バレエ エトワール

ピアニスト

ヴァイオリニスト



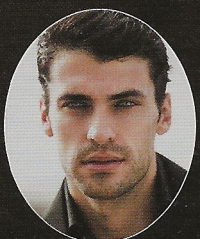
エルヴェ・モロー
Hervé Moreau



ドロテ・ジルベール
Dorothée Gilbert



マチュー・ガニオ
Mathieu Ganio



ジョルジュ・ヴィラドムス
Jorge Viladoms



三浦文彰
Fumiaki Miura

2016 1/10 (日) 18:00 11 (月・祝) 15:00

Bunkamura オーチャードホール

主催: Bunkamura / TV TOKYO 協力: Lepetto オフィシャルエアライン: ANA

共同企画: Bunkamura / 愛知県芸術劇場 企画協力: ベルチェアソシエイツ

美しい時代へ — 東急グループ

Claude DEBUSSY
(1862-1918)

Andante très expressif



Message

ある日エルヴェから、ソロ作品を創作してほしいと依頼を受けました。提案された音楽はドビュッシーの「月の光」。この曲はまさに彼の人柄や個性、魂を表しているような音楽です。この曲に振り付けられるということは私自身、大変嬉しいことでした。

オペラ座のガルニエ宮にあるスタジオでリハーサルは行われましたが、素晴らしい雰囲気の中で創作は進み、作品はまるで魔法にかけられたようにとても自然に創られていきました。これまでもこのガルニエ宮のスタジオではいくつかの作品を創作していましたが、この劇場が持つ神秘的な雰囲気はいつも作品の誕生を後押ししてくれるように感じます。今回もその素敵な力の助けもあってか、素晴らしくエレガントなダンサー、エルヴェにぴったりの美しい作品を生み出すことができましたと思います。私たち二人が最もロマンティックな街パリでこの作品を創り上げる過程を楽しんだように、日本のお客様にもこの作品を心から楽しんでいただけることを願っています。

from イリ・ブベニチェク

月の光

音楽：クロード・ドビュッシー
振付：イリ・ブベニチェク
バレエ：エルヴェ・モロー
ピアノ：ジョルジュ・ヴィラドムス

“Clair de Lune”

Music: Claude Debussy
Choreography: Jiří Bubeníček
Ballet: Hervé Moreau
Piano: Jorge Viladoms

気鋭の振付家イリ・ブベニチェクが、エルヴェ・モローのために振り付け、2014年7月「エトワール・ガラ」にて世界初演された。音楽はクロード・ドビュッシー（1862-1918）の「ベルガマスク組曲」より第3曲「月の光」。美しく月の光の静寂ともの悲しさを歌ったポール・ヴェルレーヌ（1844-1896）の同名の詩にインスピレーションを受けたとされる。

舞台の下手側にピアノ、上手側には大きな月の下辺が見える。ピアノにもたれかかるようにして舞台に腰を下ろしていたモローは、澄んだピアノの音に誘われるように顔をあげ、月を仰ぎ見、ゆっくりと立ち上がる。何かを求めように伸ばされた腕から生まれたムーブメントは途切れることなく、流れるようなラインを描き、空間に自在に広がっていく。身体の各パーツが調和し、頭部、手からボディを通して足先へ、滑らかな動きの円環は、まろやかな月の輪郭と呼应するようだ。

空に浮かぶ月の光はどこか温かみを感じさせるもの。孤独と絶望を知る者には、闇を照らす月の光は一筋の希望となるのだろう。

過去との対話なのか、束の間の夢の世界なのか、それとも……、観る者のイメージネーションも果てしなく広がっていく。

(文：守山実花・舞踊評論家)



Jiří Bubeníček
イリ・ブベニチェク

©Rebecca Hopp

ポーランド生まれ、チェコ国籍。ローザンヌ国際バレエ・コンクールでキャッシュプライズ賞を受賞後、ハンブルク・バレエに入団、1997年プリンシパルに。2002年、ブノワ賞受賞。06年にドレスデン国立歌劇場バレエにプリンシパルとして移籍。海外のバレエ団からの招聘も多く、06年にはパリ・オペラ座バレエ「椿姫」でアニエス・ルテステュと、10年にはオーレリ・デュボンとの共演でアルマンを踊っている。振付家としても活躍しており、07年チューリヒ・バレエに振り付け、世界各国で上演されている代表作「ル・スフレ・ドゥ・レスプリ―魂のため息」、09年ニューヨーク・シティ・バレエ「トッカータ」、12年ドレスデン・バレエ「牧神」、マリンスキー・バレエ「ジェントル・メモリーズ」のほか、14年にはドルトムント・バレエに長編物語バレエ「ザ・ピアノ」を創作し、絶賛を得ている。日本では13年に「ブベニチェク・ニューイヤー・ガラ」をBunkamuraで開催するほか多くの公演に出演。また、ドイツの主要バレエ団のプリンシパルとともにドレスデンで東日本大震災サポート・チャリティ公演を開催するなど日本のつながりも深い。

